



令和7年 4月25日(金)
石垣市立白保小学校
TEL: 86 - 7840
FAX: 86 - 7396

かしこく やさしく たくましく 育つために

始業式・入学式を終え3週間が経とうとしています。さてこの4月、「チーム白保小」は子どもたちと共に新たな目標に向け出発しました。その目標とは、白保小の合言葉「かしこく・やさしく・たくましく」育つための様々な取り組みの目標です。知・徳・体バランスのとれた子どもたちのよりよい成長のために、「魅力ある学校」「地域から愛される学校」づくりに教職員一丸となって取り組んで参ります。保護者の皆様、地域の皆様と共に進んで行きたいと思っておりますので、様々な面でのご支援ご協力をよろしくお願いいたします。29日(火)は遠足です。子どもたちと共に安全に気を付けながらパンナ公園の春を楽しんできたいと思っております。(今日のところ、予報では当日雨は降らないようです。)

6年生の運営委員のみなさんとの懇談会

昨日24日(木)の昼休み
6年生の3名を校長室にお招きしました。その3名は、
宮良 陽葵(ひまり)さん
三島 春那(はるな)さん
友利 茅寿(ちず)さんで
運営委員会のメンバーです。
つまり、白保小の児童代表
(中学校でいう生徒会代表)として校長室に来ていただき、ちょっとした懇談会をもったのです。(お茶とお菓子も準備しました)



テーマは、「どんな白保小にしたいか」でした。始業式で私が「この学校を楽しい学校にしたい!」と話したことを、3人はちゃんと覚えていました。そこで、「楽しい学校にするために必要なことを考え、それを実現していくために、リーダーであるあなたたち6年生の力が必要なんだ。」ということを意識してもらうために、校長自ら招待したのです。先生に言われてやるのと自分たちが企画してやるのでは、モチベーションが大きく変わります。たとえ失敗してもそこからの学びがあることで、人は成長していきます。恐れることなかれ!

これからの時代は子どもたちに、こういう意識を育てることが大切になってきます。なぜなら、複雑に変わる現代社会、未来がどうなるか予測不可能な世の中になってきたからです。これまでの常識が通用しないことを理解し、変化していく世の中に対応できる人材を育成しなければならなくなってきました。3名の顔は真剣そのものでした。



5月の行事予定



- 2日(金) 春の遠足振替休日
- 5日(月) こどもの日
- 6日(火) 振替休日
- 7日(水) クラブ①(発足式)
- 9日(金) 1年生を迎える会
- 10日(土) 授業参観(2・3校時)
PTA 総会(4校時)
- 12日(月) 振替休日
- 13日(火) 校医検診
1年生5校時授業開始
- 14日(水) お話朝会①(校長先生)
- 15日(木) 交通安全教室(1年)
- 21日(水) 第1回 PTA 評議委員会
- 22日(木) 教育相談週間(～29日まで)
※この期間は5校時授業
- 30日(金) 海神祭(旧暦5/4 ユッカヌヒー)
※4校時授業(給食あり)



『最高のコーチは教えない』

～ 自分で考え行動する子を育てるには ～



かつてメジャーリーグでも投手として活躍し、世界一の栄冠を勝ち取った2023年のWBCでも日本代表チームの投手コーチを務めた現千葉ロッテマリーンズ監督：吉井理人(よしいまさと)氏は、著書『最高のコーチは教えない』の中で、「指導者=教える人」という固定観念を覆さないと人の能力を最大限に発揮させる事はできない、コーチの仕事は、選手が自分で考え、課題を設定し、自分自身で能力を高められるように導くことだと言っています。選手→子どもに置き換えると、この考えは子どもの教育にも当てはまります。

今の子どもたちは、自分で何をやるかを決めて行動するという機会が少ないように思います。私たち教師や親が「少しでも学力をつけたい」「良い道へ進んで欲しい」とあれこれ与えすぎたり先回りして世話をし過ぎたりするからではないでしょうか? 私たちが与えれば与えるほど子どもたちはどんどん主体性を奪われていきます。心配なのは与えられることや指示されることに慣れきってしまうと、うまくいかなかった時に他人のせいにしてしまう子になってしまうのではないかということです。主体的に生きる子どもたちを育てるために教師や親はどのように関わればいいのか、コーチングの理論は参考になります。